

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成 21 年 5 月 28 日 (2009.5.28)

【公開番号】特開 2007-284105 (P2007-284105A)

【公開日】平成 19 年 11 月 1 日 (2007.11.1)

【年通号数】公開・登録公報 2007-042

【出願番号】特願 2006-113325 (P2006-113325)

【国際特許分類】

**B 6 5 D 65/40 (2006.01)**

**B 3 2 B 27/32 (2006.01)**

**B 6 5 D 30/02 (2006.01)**

【F I】

B 6 5 D 65/40 D

B 3 2 B 27/32 E

B 3 2 B 27/32 1 0 3

B 6 5 D 30/02

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 10 日 (2009.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材層 (1)、第 1 の接合層 (2)、中間層 (3)、第 2 の接合層 (4)、シーラント層 (5) が順次積層された積層フィルムであって、前記中間層 (3) がポリオレフィン系樹脂フィルムであり、前記シーラント層 (5) が線状低密度ポリエチレン樹脂フィルムであり、前記第 2 の接合層 (4) が押出ラミネーション法により形成された厚み 3 ~ 13  $\mu$ m のポリエチレン系樹脂層である、油脂類を含有する流動体の包装用積層フィルム。

【請求項 2】

前記基材層 (1) が 2 軸延伸ナイロンフィルムと 2 軸延伸ポリエステルフィルムとからなる群から選ばれた少なくとも 1 種のフィルムであり、前記基材層 (1) と前記中間層 (3) との間にガスバリアー層 (7) がさらに積層された請求項 1 記載の積層フィルム。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の積層フィルムを用い、前記シーラント層 (5) を内側にしてヒートシールにより製袋された、油脂類を含有する流動体包装用の多重包装袋。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の多重包装袋に、油脂類を含有する流動体を充填密封し、70 以上で、かつ前記シーラント層 (5) を形成する線状低密度ポリエチレン樹脂の示差走査熱量計によって測定される結晶融解ピーク温度  $T_p$  m より 5 低い温度以下の温度に加熱処理する、油脂類を含有する流動体の包装方法。

【請求項 5】

請求項 3 に記載の多重包装袋に、油脂類を含有する液体・粘体状食品が密封充填されており、かつ、前記積層フィルムの中間層 (3) とシーラント層 (5) 間の剥離強度が、5 ~ 100 g / 15 mm の範囲である多重包装体。

【請求項 6】

請求項 1 または 2 に記載の積層フィルムを用い、前記シーラント層 (5) を内側にして

ヒートシールにより製袋された袋に油脂類を含有する流動体を包装した多重包装体。